

# 掛川市教育委員会定例会議事録

会議名	令和元年7月掛川市教育委員会定例会		
場所	掛川市役所南館 教育委員会室		
開催日時	令和元年7月25日（木） 午後1時30分から午後4時8分まで		
出席者	教育長 佐藤嘉晃	教育部長 榛葉貴昭	
	教育長職務代理者 戸塚忠治	こども希望部長 山崎 浩	
	委員 永田孝明	教育政策課長 山梨 実	
	委員 橋山鈴代	学校教育課長 杉浦雅美	
	委員 岩尾千佳子	社会教育課長 戸塚和美	
		図書館長 赤堀賢司	
		学校教育課主席指導主事 柳瀬昭夫	
		教育部政策官 尾崎和宏	
		教育政策課教育政策係長 水谷忠史	
		教育政策課教育政策係指導主事 殿岡基弘	
		教育政策課教育政策係事務員 松村納菜美	

## 1 協議事項

- (1) 令和2～5年度使用の小学校教科書採択について (資料1)
- (2) 令和2年度使用の中学校「特別の教科 道徳」を除く教科書採択について (資料2)
- (3) 令和2年度新入園児募集における優先条件等について (資料3)

## 2 報告事項

- (1) 令和元年度かけがわ教育ディスカッションについて (資料1)
- (2) 掛川市新たな学園づくり研究会について (資料2)
- (3) 掛川市内小中学校のあらわれについて (資料3)
- (4) 小学校の通学路合同点検について (資料4)
- (5) 小・中学校ラグビーワールドカップ2019観戦について (資料5)
- (6) 全国学力・学習状況調査 早期対応 掛川市の概要について (資料6)
- (7) 吉岡彌生記念館企画展『攻略！高天神～六砦からみる家康の城攻め～』について (資料7)
- (8) 吉岡彌生記念館 高天神城展無料開放事業について (資料8)
- (9) 幼児教育・保育の無償化への対応について (資料9)

## 1 開 会

教育長：教育委員会7月定例会を開会する。

本会の議題中、協議事項(1)及び(2)の教科書採択については、非公開とするべき議題と判断し、当該議題について、非公開としてよいか決議する。

異議はなく、決議された。

よって、当件は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「法」という。）第14条第7項ただし書の規定により、非公開とする。

## 2 教育委員会6月定例会議事録の承認について

事務局から申し出のあった箇所を訂正することとし、承認された。

## 3 事務報告及び行事予定報告

教育部長から事務報告及び行事予定について、主な事項の説明があった。

#### 4 協議事項

教育長：協議事項(1)及び(2)の教科書採択の件については、非公開としたので、「次第6 その他」の終了後、最後の方で協議を行う。

まず、始めに協議事項(3)の説明をお願いする。

- (3) 令和2年度新入園児募集における優先条件等について  
こども希望部長から報告資料3のとおり報告があった。

意見はなく、承認された。

#### 5 報告事項

- (1) 令和元年度かけがわ教育ディスカッションについて  
教育政策課長から報告資料1のとおり報告があった。

- (2) 掛川市新たな学園づくり研究会について  
教育政策課長から報告資料2のとおり報告があった。

委員：原野谷学園と城東学園の研究が昨年度あって、こういう研究会を立ち上げることは、その準備段階の位置づけなのか。

教育政策課長：そのとおり。

委員：そこの2箇所だけか。

教育政策課長：この2校が一貫教育のプログラムの検討も含めて先行している。今回の研究会については市内全域の学校について検討するということである。実際の統廃合、あるいは改築等につなげていく時には、その先行している2校の方が、先に行く可能性は高いと思うが、他の公共施設の老朽具合とかも勘案すると、他の地域を急いだ方が良いのではないかというような意見も出ているので、その辺は全体的な調整を図った中で進めていきたいと思っている。

委員：それが前例になるということか。

教育政策課長：そのとおり。

教育部長：市内全部の学校の通学区も含めて、今まで線引きしていた曾我小学校はここまでとか、西中学校はここまでといった線を動かすことも考えた市内全体の再編を考えていく。

委員：学園化単位で全然違う。

- (3) 掛川市内小中学校のあらわれについて  
学校教育課長から報告資料3のとおり報告があった。

委員：「ひ・ま・わ・り」とか「は・ち・み・つ・じ・ま・ん」とは何か。

委員：前は、「いかのおすし」だった。「は」は、「話しかける」、「ち」は、「近づいてくる」、「み」は、「見つめてくる」などの怪しい人の頭文字とある。

学校教育課長：「つ」は、「ついてくる」、頭文字を取った合言葉である。

委員：近頃、市内に不審者が多いということがこの間報告であった。小中学生ではなくて、高校生くらいのレベルの人に対していたずらをする人がいるという話があった。本当に気を付けた方が良いという話が、地域から出ている。

委員：ここでは関係ないが、前回のいじめの子のその後はどうなっているか。

学校教育課長：昨日から教室に入れているのではないかと思う。

委員：改善できているということか。

学校教育課長：改善できている。

教育長：先日のいじめ防止対策推進委員会で、一つの事例として報告させてもらって、御意見をみなさんからいただいた。その時の登校の状況について説明があり、課長が言ったように保健室登校から始まって、今日教室の方にも入れるようになって、学校には一応出席できている。

委員：夏休みに入るので、夏休み明けが心配である。生徒間暴力とか粗暴行為がこんなに件数が多いのはどうなのか。

学校教育課長：外国籍の子は、コミュニケーションがうまくできないので手が出るとか、発達障害のことがあって、言葉より先に手が出るという子が多いというのが、これが増えていることの原因にはある。

委員：対教師暴力は子どもが先生を殴ってしまったのか。

学校教育課長：そのとおり。

委員：先生に手をあげるとは。

学校教育課長：言うことを聞かないで、手を振り回したり、足を振り回したりするので、結果として先生を殴ったり蹴ったりしてしまう。

委員：JRの所にもポスターがあって、一般の方がJRの対応が悪いと言って、手を出して殴るということがすごく多くて、鉄道会社の人たちが困っている。勤めている人に聞いたら、基本はアルコールが入っている人が多いということだった。夕方から夜にかけて増えてくるというので、普段の人間の中の鬱憤が学校ばかりではなくて、社会の中にもしっかりあるのではないかと思う。

委員：エアコンのことで、経験的なことだが、子どもたちがプールに入って次の授業で暑いと言ってエアコンをかけていても、先生は暑いかもしれないが、子どもたちはまだ髪の毛が濡れていて、寒がっている場合がある。だからエアコンをつける時に、先生方の感覚ではなくて、子どもたちの状況を見てもらいたいということと、エアコンについては寒い暑いを感じ方が違うし、場所によっても違うので、薄い長袖とか1枚持ってきて、着る物で調節できたら良い。

学校教育課長：2時間目と3時間目の間の長い休み時間が小学校にあって、汗だくで来るので、その時は拭かせたりして配慮してくださいとか、体育館に行くときは早めにエアコンを切るとか、その温度差に慣れるようにということもマニュアルに入れてお願いをしてある。

- (4) 小学校の通学路合同点検について  
学校教育課長から報告資料4のとおり報告があった。

委員：この中に入っていない学校は終わっているのか。

学教教育課長：この時点ですたした時に出てこなかった学校は、学校名としてない所もある。

- (5) 小・中学校ラグビーワールドカップ2019観戦について  
学校教育課長から報告資料5のとおり報告があった。
- (6) 全国学力・学習状況調査 早期対応 掛川市の概要について  
学校教育課長から報告資料6のとおり報告があった。
- (7) 吉岡彌生記念館企画展『攻略！高天神～六砦からみる家康の城攻め～』について  
社会教育課長から報告資料7のとおり報告があった。
- (8) 吉岡彌生記念館 高天神城展無料開放事業について  
社会教育課長から報告資料8のとおり報告があった。
- (9) 幼児教育・保育の無償化への対応について  
こども希望部長から報告資料9のとおり報告があった。

## 6 その他

- (1) 大東大須賀区域認定こども園化の状況について  
こども希望部長から当日配布された資料のとおり報告があった。

委員：城東中学校の周辺なら田んぼであるので、早めに盛り土だけしながら対応することはできるのか。

こども希望部長：あの場所も農振の除外が必要になってくる。事前に農林課や県の農政部、中遠農林事務所に聞いたところ、来年の随時変更の中で対応できるということで、その辺の見通しができれば、早めに用地を買収させていただいて埋めさせていただくこともあるが、ただ田んぼもまだ耕作しているので、秋以降の目処になると思う。

- (2) 次回以降教育委員会定例会の日程について

ア 教育委員会8月定例会  
令和元年8月23日（金） 午後1時30分  
掛川市役所南館 教育委員会室

イ 教育委員会9月定例会  
令和元年9月27日（金） 午後1時30分  
掛川市立大東図書館

- (3) その他の予定について

ア かけがわ教育ディスカッション  
令和元年8月1日（木） 午前9時

掛川市役所南館 会議室  
テーマ：「学校の働き方改革について」

## 7 協議事項（非公開）

教育長：続いて、冒頭の決議により非公開案件として、最後に協議をすることとした協議事項(1)及び(2)の教科書採択の件に移る。

- (1) 令和2～5年度使用の小学校教科書採択について  
当件は、冒頭の決議を受け、法第14条第7項ただし書の規定により、非公開とする。

学校教育課長及び学校教育課主席指導主事から協議資料1及び次のとおり説明があった。

学校教育課長：今回は二つの採択をお願いする。一つ目は、令和2から5年度の4年間使用する「小学校教科用図書」である。二つ目は、令和2年度一年間だけ使用する「中学校用特別の教科道徳を除く全ての教科用図書」である。

それでは、教科書採択の仕組みから説明する。いつも見ている「小中学校用教科書用図書採択機構」の図を御覧いただきたい。右下の所に「地区教科用図書採択連絡協議会」とあるが、教科書採択の年になると、小笠地区3市で立ち上げる。構成委員については、教育長、校長代表、保護者代表それぞれ3市から出るので、9人で構成される。事務局は3市持ち回りで、今年は掛川市が担当している。この地区教科用図書採択連絡協議会は、今年第1回目が5月7日に行われた。ここでは採択の方針、教科書研究委員の任命などが行われている。地区教科書研究委員会というのが、任命された人たちが教科書を研究してもらうものだが、41人の教員に6月17日から4日間、朝から晩まで研究をしていただいた。それについては、文部科学省から出ている教科書の編修趣意書、小笠地区の学校に教科書を回したので、その意見等を参考に進めていただいた。その研究結果が、お手元にある採択案となる。小学校の各教科のまとまったものがそこにある。

もう一つ採択案があるが、こちらが中学校用の道徳以外の教科書のものだが、今回は一年間のみ使うものになる。こちらについては、平成27年度の調査結果を基に、事務局からこの教科書がどうかということでもとめられた採択案になる。お手元に二つ採択案がある。

教科書の調査研究、採択連絡協議会の協議だが、どんな方針かは、資料の6頁の3番の所に採択基準があるが、こちらの採択基準を基に話し合いを持って、審議を進めてきた。これについてはかなり時間をかけてまとめられたものなので、大変信頼の置けるものではないかと思うが、あくまでも決議は、市教育委員会で行うものになる。席の両側に教科書を置いてあるので、併せて御覧いただきながら、審議をお願いしたいと思う。

教育長：今の経過説明を聞いて何か質問はあるか。

(質問なし)

教育長：それでは審議をお願いする。事務局は小学校の教科用図書の採択案について説明をお願いします。

学校教育課主席指導主事：令和2から5年度使用の小学校教科用図書の採択について、資料をめくってもらくと、別紙で採択案がある。これに基づき説明する。お手元に教科書も置いてあるので、実際に教科書を見ていただきながら、採択理由を説明するので、様子を見ていただいて判断をお願いします。

【国語】「光村図書出版」

- (1) 単元のはじめに、「これまでの学習」として、どの教材とつながっているかが明示され、

系統的に学習できるよう構成されている。教材は、ねらいに沿って吟味されたものが採用されている。

- (2) 「読むこと」の単元では「とらえよう→ふかめよう→まとめよう→ひろげよう」という構成を各学年で採用し、「書くこと」と「話すこと・聞くこと」の単元では、活動の流れをフローチャートで示すことで、主体的に学習できるように工夫されている。
- (3) 説明文を読む単元は、どの子ども抵抗なく学べる小教材である「練習」を用いて、学習の視点を確認してから、主教材を学べる構成になっている。
- (4) 二次元コード（QRコード）を様々な所に配置することで、児童が学習を進める上での参考となり、興味・関心をもって、深い学びにつなげていくことができるようになっている。
- (5) ひらがなやカタカナの学習にじっくり取り組めるように、1年上の新出漢字の数が少なく設定されていたり、1・2年の文字が、少し濃く太めに設定され、より読みやすくなっていたりするなど、低学年の発達段階に応じた工夫がされている。
- (6) 紹介されている本の冊数が多く、本の紹介のコーナーの内容が充実している。学習をきっかけに数多くの本にふれたいくなるような工夫がされている。

委員：QRコードはもう読めるのか。

学校教育課主席指導主事：読み込める。

教育部長：子どもがスマホを使うのを前提としているのか。

学校教育課主席指導主事：子どもが家庭でも使えるが、基本的には授業の中で、先生がタブレットとかでテレビに映したりする。ページの中には、工事中のものもあるかもしれない。

委員：他社でもQRコードを使っているものがあるか。

学校教育課主席指導主事：いくつか入っている。

委員：教科書としてすごく見やすい。やはり選ばれた教科書だと思う。内容もそうだが、見やすいというのがないと子どもたちの勉強する時の意欲が減ると思う。国語の6年生を見ていたら、友だちが二人で歩いていて、一緒の事柄の内容をそれぞれの子がどういうふうに思ったかを考えさせるものだった。

#### 【書写】「光村図書出版」

- (1) 1年では、書き順より先に、止め、はね、はらいの内容が掲載されているなど、6年間を通して、止め、はね、はらいの、始筆・終筆の指導に重点が置かれている。字形を整えて書くことを重視した内容となっている。
- (2) 単元の初めに複数の例を比較し、違いとその理由を考え、「たいせつ」でポイントを押さえる流れになっている。課題が明確になり、児童が主体的に学習を進めることができる構成になっている。
- (3) 「文字の配列」が高学年になるにつれて充実していき、具体例が多く紹介され、身につけた力を、他教科の学習へ生かす工夫がされている。また、書写でつきたい力が国語の「書くこと」の活動の流れの中に位置づけられ、国語科との関連性が図られている。
- (4) 6年の「書写ブック」では、6年間で学習した内容が、学年ごとにまとめられており、6年間の学習を振り返り、また、見つけた力を実生活に生かす工夫がされている。
- (5) 手本や穂先の運びなど実物大の提示があり、入門期の児童（1年硬筆・3年毛筆）が体験を通して学習を進められるようになっている。3年では、止め、はね、はらいなどを確かめるシールがあり、児童の始筆・終筆に対する意欲・関心を高める工夫がされている。

委員：書く姿勢を写真で載せていて丁寧である。

教育部長：教科として書写があるのか。

学校教育課主席指導主事：教科では国語で、その中に書写の時間がある。

委員：説明が丁寧。どれも絵は載っているが、これ1冊で全部自習ができるのではないかというくらい説明が丁寧。

#### 【社会】「教育出版」

- (1) 「社会科の学習の進め方」や「学びの手引き」などで、思考を整理する方法が具体的に例示されており、「社会科の見方・考え方」が明確にされている。そのため、基礎的・基本的な知識や技能を身につけ、思考力・判断力・表現力を働かせながら主体的な学びを進めることができる。
- (2) 導入資料が充実しており、単元を通して追求する課題を設定しやすくなっている。「この時間の問い」によって、1時間の授業が主体的に流れていくように配慮されている。さらに、「次につなげよう」によって「まとめる」「ひろげる」段階まで、追求に一貫性が保たれるよう配列されており、継続的な問題解決学習を展開することができる。
- (3) 調査活動をしている場面や対話的に学ぶ場面の写真やイラストが掲載されており、「どのような点に着目して調査をすればよいか」「収集した情報をどのように問題解決につなげていけばよいか」が具体的に分かり、学ぶ姿勢の指針となっている。
- (4) 2次元コードから得られる情報が豊富で、小学生が興味関心をもちながら、進んで学習することができる。

委員：2次元コードとは。

学校教育課主席指導主事：QRコードのことだと思う。

委員：学びリンクとは何か。

学校教育課主席指導主事：目次の所にQRコードがある。これにアクセスしてもらおうと学びリンクと書いてある所が見られる。

#### 【地図】「帝国書院」

- (1) 精選された情報が掲載されており問題解決しやすいだけでなく、2次元コードを活用してデジタル資料で調べることができる。そのため、情報を収集・活用しながら主体的に学ぶことが出来るようになっている。さらに、「地図マスターへの道」を使って学習することで、地図活用能力が身につくことも期待される。
- (2) 統計資料と地図が、学習指導要領の内容に沿って配列されているだけでなく、精査された内容となっているため、社会的な見方・考え方を働かせて学習することができる。
- (3) 「日本を眺める地図→広く見渡す地図→都道府県を見る地図→詳しく見る地図」という配列が、発達段階を配慮している。また、地図に併せて、地図帳活用の仕方や地図の約束などが丁寧に扱われており、読図の技能が身につく構成となっている。
- (4) 色・文字の大きさ・書体・表現方法などが、細部まで見やすい配慮がされている。

教育長：他のものを見ると、「るるぶ」みたいな表現の物がある。

学校教育課長：もう一社は、学習用という感じではない。

委員：地図はこちらの方が見やすい。

学校教育課主席指導主事：シンプル。

委員：何となく立体感がある。真っ平らではない。

委員：あまり細かくなくていいかもしれない。字が大きい。

#### 【算数】「学校図書」

- (1) 学年に応じたプログラミングのページや、「倍の計算」の特設単元を設定し、系統立てて学べるように配慮されている。
- (2) 今の自分を知ろうでは、算数で学んだ数学的な見方・考え方を使って解くようなページがあり、パフォーマンス評価のような考えを取り入れている。
- (3) 「深めよう」「アクティブ」「活動！！」のページを設定し、生活の中の算数に気付かせることができる。また、話し合い活動を促して対話的な学びを意識させることができる。
- (4) データの活用領域では「基礎・基本」と「活用」の2単元を設定している。
- (5) 前の単元で学んだことを生かす配列で、思考の流れを大切にしている。例えば、5年生の単位量当たりの大きさの後、少数のかけ算、4年生の角の後に、いろいろな四角形等。
- (6) どの学年も大きさがA B版で、余白部分が生まれ、見やすい字の大きさであると同時に、図形の単元では、実測や作図ができるようになっていて、ユニバーサルを意識した作りになっている。

委員：これだけかわいいと教科書が好きになる。

委員：漫画を見ているよう、絵本みたい。

委員：これにもQRコードがある。

委員：見比べてみたが、目次をめくった時に、単元の配列が適当で良いと思った。例えば四角形とか三角形という言葉が目次に出ていないのが東京書籍で、学校図書はそれが出ている。今習っているのが何なのかということが書いてある。高校だとほとんど同じ配列になっているが、小学校の場合は受検とかが特にないので、配列も教科書によって変わっている。単元の配列が、子どもたちの発達に合っているという感じを受けた。

#### 【理科】「東京書籍」

- (1) 単元の始めと、終わりの構成が統一されていて、問題解決の過程が分かりやすい。
- (2) 学習の最後に総括して考えさせたい単元の本質に迫る問いが導入で例示されている。
- (3) デジタルコンテンツが作られていて、家庭でもインターネットを使って自学自習に取り組めるようになっている。
- (4) 事故防止に対し安全配慮に関するポイントを示し、目立つように文字の色を変えて太くしたり、複数ある場合には箇条書きにしたりして、注意を呼び掛けている。
- (5) 単元名や問題解決の段階に関わる表示を大きな文字で示したり、単元の導入ページの全ての漢字にルビを振ったりして、児童が意欲的に取り組めるように配慮がされている。
- (6) 観察、実験方法は、文章の横に対応する写真・図が配置され、児童は容易に読み取りができるよう工夫がされている。

委員：これで理科が好きになるのでは。

教育長：事故防止の所はしっかりアピールしてある。そこは東京書籍が一番押さえられている。デジタルコンテンツは、良いものが入っている。インターネットで家に持ち帰っても復習ができるところが優れている。



委員：幼虫の成長の図の入れ方から、飛び出す絵本ではないが、このペラペラの教科書に切っ  
て入れてある。写真が途切れないように。教科書でここまで至れり尽くせりが、今までにあ  
ったか。驚いた。

【生活】「新興出版社啓林館」

- (1) 3段階の学習展開や見開きのページ構成が統一されており、学習の見通しがもちやすい。  
「導入」のページでは、魅力的な写真が効果的に使われ、学びの意欲を高めることができる。  
「展開」のページでは、多様な活動がイラストで分かりやすく例示されており、気づきの質  
を高める手立てとなっている。「終末」のページでは、「伝え合う」対話的な学習が設定され、  
他教科と関連した多様な表現方法が例示されている。
- (2) 単元の終末に、育てたい資質や能力を具現化した「できたかな」の自己評価の視点が示さ  
れており、学びの実感を得やすくなっている。
- (3) ページの右端に児童の思いを次時につなげる「めくり言葉」があり、学びの連続性を意識  
した構成となっている。
- (4) 幼児教育との接続を図る「すたあとぶっく」が学校生活に沿っていて「安全指導」や「生  
活指導」など教育の全体を視野に入れた内容となっている。
- (5) 3年生へつなげる「ステップブック」が編成されていて、生活科で身につけた力を自覚し、  
意欲と自信をもって進級できるように工夫されている。
- (6) QRコードによる動画資料が充実しており、児童でも簡単に扱える内容となっている。
- (7) 上巻の飼育の単元では、哺乳類や昆虫など題材となる生き物をバランスよく扱っている。

委員：動画の資料があつたり、生活だから実生活に即した題材が多く入っている。

委員：イラストが効果的である。1、2年生に理解しやすいように。

教育長：ぱっと見た時に対話的である。学習しやすい雰囲気が醸し出されている。伝え合う対  
話的な学習が大事なのでは。

【音楽】「教育芸術社」

- (1) 題材ごとにねらいと学習内容が明確に示されている。教材の難易度が児童の発達段階や実  
態に適しており、子どもたちが思いや意図をもって主体的に活動できるように工夫されてい  
る。
- (2) 生活や社会の中の音や音の役割、音楽が与える勇気や人をつなぐ力等に関する資料が様々  
な角度から効果的に記載されている。音楽を身近に感じ、音楽の良さや価値について考えら  
れるよう配慮されている。
- (3) 精選された教材がバランスよく配置され、系統的に学習を進められるような構成となっ  
ている。各題材において、基礎的・基本的な内容を中心にして適度な分量の教材が扱われてお  
り、児童が学習内容を無理なく習得できるような配列になっている。
- (4) 楽譜・文字の配置や表記が適切で、配色についても考慮されており、見やすくわかりやす  
い紙面になっている。

委員：QRコードを使って音が出た。

委員：QRコードを使ったりして、教科書が変わってきた。

委員：作曲家の写真がいろいろな所に載っていて、その方の生い立ちまで細かく説明がある。  
ただこの曲を知っているではなくて、どういう人が作っていて、どういう経済状態で、どう  
いう時代でということが、すごくわかるような音楽の教科書になっている。

### 【図工】「日本文教出版」

- (1) 各題材で伸ばしたい資質・能力を児童にもわかる言葉で3つの学習のめあてとして示している。作品や製作段階の写真、吹き出しなどでヒントを示し、児童が発想を膨らませ、表現を追求するための配慮がされている。
- (2) 「ひらめきポケット」や「教科書美術館」を設定し、身近な自然や生活の中の形や色を意識した多様な図や写真が掲載されており、造形的な見方・考え方を深める工夫がされている。
- (3) 幼稚園や中学校との接続や、小学校6年間の系統性が考慮されており、同じ素材を使った題材を段階的に扱うことで、既習事項を生かしながら学びを深めていけるよう配慮がされている。
- (4) 児童の「やってみたい」を引き出す題材名やリード文が設定され、活動の意欲が高まるように配慮されている。また、表現と鑑賞を一体化させたり、家庭や地域などの社会とつながる事例を掲載したりするなど、学びが広がる工夫がされている。

委員：物を作る時の見方がすごくわかりやすい。

委員：夏休みの宿題の工作で何かを作るのに、どこかから違う本を買ってきて見たり、わざわざアイデアを図書館で借りてきたりしていたが、教科書からヒントが得られるように工夫がされている。

学校教育課主席指導主事：完成品ではなくて、ヒントになるようなものがいっぱいある。

委員：この廃材からこういう物が作れますというような提案がいろいろ書いてある。

委員：階段の所とかにテープを貼って、こんなことをやったら、少しおもしろく見えるという見方を変えるような、創造的なものに対すること、ただ物を作るだけではなくて、少し工夫するとズレていても同じように見えたり、見方に対する工夫、やらせてみようとするチャレンジ的なことが載っている。

### 【家庭】「東京書籍」

- (1) 生活の営みに係る見方・考え方を、家庭科の窓として題材の初めに明示してあることで、どの視点を重視して学習を進めればよいか明確になっている。また、目次や各ページのマークでもはっきり押さえられているので系統的に活用しやすい内容になっている。学習の流れが、どの題材も3ステップで問題が帰納的に構成されているため、問題解決的で実生活に生かしやすい。
- (2) 扉のページに家庭科の学びの流れや配列が一目で分かるよう構成に工夫がある。5・6年生で関連する内容が同時期に配置されているものが多く、学習の流れがリンクしている。時間軸・空間軸を意識して配列されている。
- (3) 資料やマークが豊富で大きく掲載されているため指導しやすい。身近な物を使った制作例が参考になり、「工夫」という言葉で載っているため、自分から作ってみようと思わせる載せ方になっている。文章表現や用語が児童の生活経験に基づいた易しい言葉で表され、児童の発達段階に即している。
- (4) 「いつも確かめよう」で児童が何度も確認することで基礎基本が確実に習得できるようになっている。「プロに聞く」が多くあり、キャリア教育につながったり児童の視野を統合発展的に広げたりする工夫がみられる。

委員：写真とかが載って、至れり尽くせりになっている。

委員：右利きの包丁の使い方、左利きの包丁の使い方それぞれが載っている。

委員：一昔前なら修正しなければいけないとされたものが、現在では多様性、違うものを受け

入れられる時代となった。今までは駄目と言われたことでも、今からは受け入れる時代になっていることがしっかりわかった。

#### 【保健】「東京書籍」

- (1) ステップ4（まとめ）は、記述することを通して、知識の定着と実生活への活用を促している。新設の技能項目についての実習ページが充実している。特に「けがの手当て」については、記述欄があり、確かな定着に結び付ける工夫をしている。今日的な健康情報を扱う資料が充実している。
- (2) 各単元の始めに学習計画と目標が示され、単元の見通しをもつ工夫がされている。また、他教科との関連も示されているため、教師が学習計画を立てやすい。ステップ4（まとめ）と次時のステップ1（導入）を見開きのページにすることで、次時へつながりを持たせることや、子どもが自ら課題を発見し、主体的に学習に取り組める工夫がされている。
- (3) 資料が大きくて見やすいとともに、1ページの情報量が適切であり、ワークシートと一体化されているため、集中して課題に取り組める配慮がされている。内容ごとの枠囲みや、独自のユニバーサルデザインフォント・配色・文節改行をしていることにより、すべての児童に読みやすい工夫がされている。

委員：保健だが、道徳みたいなことも書いてあった。保健の教科書の中に、「Eyes」とか「Nose」とか英単語が入っていて、他の教科につながっている。

学校教育課長：対話的な学習をさせるという意図があったと思う。

委員：こころの成長の所では、道徳とか保健が絡み合っている。それがイラストでうまく書いてある。道徳の教科書かと思った。

委員：採択理由に書いてある「健康情報を扱う資料が充実している」ということもあると思う。

委員：例題が、前の日に友だちとけんかしていて、こっちの友だちと約束したら、そこにけんかをしていた友だちが戻ってきて、この子とこの子がけんかをしているから、自分は板挟みになるというよくあるパターンで、「ぼくと遊ぶって言ったのに」となってどうしていいかわからないという例題だった。なので、道徳かと思ったら保健だった。

委員：元々道徳の授業で教科書がなかったので、保健が道徳をカバーしていた。内容的にも道徳的なことが入っていると思う。これが別になってくると、今言うように重なっている部分が出てくることは確か。心のズレを修正していく。

#### 【英語】「東京書籍」

- (1) 巻頭に各学年のテーマが段階的に明示されている。日常生活の身近な内容だけでなく、社会や世界とのつながりが意識できる内容を取り入れており、児童が広い視野を持って学習することができる。様々な国の写真や動画が多く用意されており、児童が実感を伴った理解をしたり、世界に目を向けたりすることができる。
- (2) 単元で付きたい力を、「聞く→話す→読む→書く」というスパイラルを繰り返して知識や技能を定着することができる配列になっている。
- (3) ゴールとなる単元終末の言語活動が工夫されている。その際の具体的なやりとりの表現や活動が示されているので、目的をもって単元の学習を進めることができる。
- (4) 教科書と同じ絵を用いた「Picture Dictionary」の別冊付録がついており、辞書としてだけでなく、書き写しの活動やゲームにも活用でき、児童の自発的な学習を促進できる。「Picture Dictionary」や教科書の4線は、どの児童でも使いやすいデザインになっている。

学校教育課主席指導主事：小学校もそこに書いてあるものをただ覚えさせることでは意味がな

いので、最後にやはりコミュニケーション、意味のあるコミュニケーション活動ができると良いと思う。

委員：先生が大変になる。対応していかなければいけない。今年から方針を変えらるとなるとその方針に合わせなければいけない。

委員：「Picture Dictionary」が使いやすいのではないかと思った。4技能の聞く・話す・読む・書くが、スパイラルに配置されているところが良い。

委員：小学校であれだけ英語をやったら、中学校の英語力はどうなってしまうのかと思う。5、6年生のレベルは、今まで中学校でやっていたこと。グローバルな人材がいっぱい育つのではないか。

#### 【道徳】「学研教育みらい」

- (1) 教材の前に主題名や児童への投げかけを記載しないことで、特定の価値観を押しつけることなく、児童の「問い」を大切にしたい授業を展開することができる。
- (2) 「4種類の学び方」のページがあることで、児童が教材を基に自らの生き方につなげて考えたり、体験的な学習活動をして視野を広げたりする等、多様な学びが期待できる。
- (3) A4版の紙面サイズを生かして、実物大の写真、美しい景色など魅力的な資料で学習意欲をもたせる工夫がされている。挿絵や文字が大きい。
- (4) 生命の尊さを重んじること、他者とともによりよく生きることを「いのちの教育」とし、最重点テーマとしている。生命に関する教材は連続して構成され、深く考えることができる。

教育長：報徳の関係は何年生にあるか。

学校教育課主席指導主事：3年生の110頁、わらじづくりにある。

教育部長：掛川は出てこないか。

学校教育課主席指導主事：神奈川県小田原市とある。

委員：1年生の一番スタートの道徳から後ぐらいまで見ていくと、最初は本当にやさしいことから入っていくが、途中から未来に向かって、錦織選手のことが書いてあって、目標を持つと良い。この見方の流れを見ていくと、道徳として、入口から出口に向かって流れとしてはすごく良い。1年生に希望を持つ、未来に向かってという見方を見させると、上の人たちみたいに格好良くなりたいたいという目標を持たせるには、すごく良いと思って教科書を見た。みんな仲良くしましようというのがあるが、基本としては、そのスタートを失敗すると、ダラダラした6年間になってしまう。錦織選手のように、身近な人間からこういうふうになっていくという見方がとても良い。

委員：道徳は、徐々に夢に向かっていくような、大きい希望がある。

教育長：それでは、採択連絡協議会から建議された物を一通り上げていったが、令和2年から5年度使用の小学校教科用図書は、国語は「光村図書出版」、書写は「光村図書出版」、社会は「教育出版」、地図は「帝国書院」、算数は「学校図書」、理科は「東京書籍」、生活は「新興出版社啓林館」、音楽は「教育芸術社」、図工は「日本文教出版」、家庭は「東京書籍」、保健は「東京書籍」、英語は「東京書籍」、特別の教科 道徳は「学研教育みらい」、これらを採択するというところでよろしいか。

異議はなく、承認された。

- (2) 令和2年度使用の中学校「特別の教科 道徳」を除く教科書採択について  
当件は、冒頭の決議を受け、法第14条第7項ただし書の規定により、非公開とする。

学校教育課主席指導主事から協議資料2及び次のとおり説明があった。

学校教育課主席指導主事：中学校の教科書は、今年変えなければいけない年だが、再来年から中学校の指導要領が変わるので、令和3年から新しい教科書を使うようになる。そうすると今年変えても、またすぐが変わってしまうということで、来年度一年間だけ使う教科書をどうするかと言うことで、実は中学校の校長先生方を通してアンケートを取っている。今の教科書はどうか、変えることについてどう思うか、御意見をいただいた。今使っている教科書が大変使いやすい、子どもにとっても有効な学習が進められている、できればもう一年今使っている物を継続して使えるようにしてほしいというような御意見を小笠地区の全ての校長先生が答えた。事務局からも、来年度使用する教科書については、もう一年同じ物を使わせていただきたいと考えているが、その際平成27年度に教科研究をした報告書、採択案がもう一冊の方にまとめられていて、概要だけ読み上げるので、見ていただいてこれで良いと言っただけであれば、もう一年継続して使用ということで考えていきたいと思う。

【国語】「光村図書出版」

- (1) 9か年の系統性が大切にされている。
- (2) 1年生の冒頭の所で、小中学校の円滑な連結を可能にしている。
- (3) 日常生活や他教科にいきるように配慮されている。
- (4) 思考のプロセスが定着する具体的な手法が提示されている。

【書写】「教育出版」

- (1) 3年生の言語活動が豊富。
- (2) 教科書の手本が発達段階に応じている。
- (3) 毛筆と硬筆がバランスよく学習できるようになっている。

【地理】「東京書籍」

- (1) 地域の特徴を広い視野に立って考察、理解できるよう工夫されている。
- (2) テーマに関する資料を適切に選択、活用できるようになっている。
- (3) 基礎的・基本的な地理的技能を習得できるように配慮されている。

【歴史】「東京書籍」

- (1) 歴史の大きな流れを大観できるように工夫されている。
- (2) 教材配列に工夫が見られる。
- (3) まとめの課題を設けることで、言語活動の充実が図れる。

【公民】「東京書籍」

- (1) 活動しながら学べる工夫があり、思考力・判断力・社会への参画力を高めようとしている。
- (2) 生徒が興味をもち、多面的・多角的に考えやすい導入を取り入れている。
- (3) 章の終わりに、さらに発展した内容について、自分の考えをもつ活動が設定されている。

【地図】「帝国書院」

- (1) 歴史的分野や公民的分野との関連を図るページや記述、資料図があり、地理的分野以外での活用につながるよう工夫されている。
- (2) 生徒が興味をもちやすいよう工夫されている。

【数学】「学校図書」

- (1) 学習のまとまりごとに「目標」が明示されている。
- (2) 言語活動を通して学習を進める配慮がされている。
- (3) 「基本」「応用」「活用」「深めよう」の4段階になっていて、主体的な学習を充実させる工夫がされている。

**【理科】「東京書籍」**

- (1) 単元の最初に「この単元で学ぶこと」を設定し、学習の見通しを立てさせることができる。
- (2) 自己の変容を知り自己評価がしやすい内容になっている。
- (3) 問題解決型の流れが良い。

**【音楽一般】「教育芸術社」**

- (1) 何を学習するのが明確になっている。
- (2) 学習目標が明確に提示され、学習課題が焦点化されやすい。
- (3) 学習内容を系統的に発展させる工夫が見られる。

**【音楽器楽】「教育芸術社」**

- (1) 生徒の興味関心を高め、学習の動機付けとなるような構成となっている。
- (2) 短時間で楽曲を習得したり奏法を身に付けさせたりすることができる工夫がある。
- (3) 小学校からの繋がりを考えた構成になっている。

**【美術】「日本文教出版」**

- (1) 生徒が題材のねらいを意識し自己評価することができる。
- (2) 生徒が美術の魅力を感じながら学習を深めていける。
- (3) 見通しを持って主体的に取り組むことができるような工夫がある。

**【保健体育】「学研教育みらい」**

- (1) 生徒が主体的に学習しやすい作りになっている。
- (2) 各章の終末に「章まとめ」の問題があり、学習した内容が確認しやすい。
- (3) 発展学習につなげられる構成になっている。

**【技術】「開隆堂出版」**

- (1) 本時の学習内容で押さえないポイントや、生徒に身に付けさせたい力が明確に示されている。
- (2) 小学校の内容と中学校の技術のつながりを意識させる内容となっている。
- (3) 自己評価だけでなく、自らの考えを書く形も設定されているため、言語活動を取り入れやすい。

**【家庭】「開隆堂出版」**

- (1) 生徒がめあてを明確に持って学習できるような工夫がある。
- (2) 自分の生活を見つめ直し、課題を持って生活をよりよくしていくためのヒントが豊富。
- (3) 主体的な学習を引き出す、問題解決的な学習を展開しやすい。

**【英語】「学校図書」**

- (1) 日本とは異なる言語・文化・社会に対する理解や共感を深めることができるような題材が提供されている。
- (2) わかりやすく学習を進めることができ、各ページで4技能の活動が必ず設定されている。
- (3) 慣れ親しんだ表現が導入されていることで、小中学校の接続が円滑に行える。

委員：来年度から新課程か。

学校教育課主席指導主事：中学校は再来年度から。

委員：現在の教科書で、ちょうど移行期にあるので、先生方に工夫していただいて、新課程に繋げるようなものも取り入れていくということ。それと教材研究は結構大変なので、教科書が変わると、それに応じた教材を作ったり、教え方もいろいろ変わってくるがあるので、今までやってきた中の積み重ねで、最後の教育課程の中で、先生方の指導のブラッシュアップを図っていただきたい。そうした中で従来の教科書を使っていった方がいいだろうということだと思う。

教育長：教科書にここが大事とかいっぱい書き込みをしている子どもたちが、中学生は多くいる。教科書が変わるとなると、書き込みが生かされず、覚えやすさが変わってくる。保護者の視点からでもそういう声があるのでは。従来使っている物をあと一年で変えるのは、子どもの立場からあまり好ましくないのではないか。校長会でもそういうことが出ているのではないかと思う。

学校教育課主席指導主事：教科によっては、学年ごとの教科書ではなくて、歴史や地理の様に3年間使う教科書もあるので、変わってしまうとなかなか難しい問題がいろいろ出てくると思う。

教育長：それでは、採択連絡協議会から建議されたものの確認だが、中学校の国語は「光村図書出版」、書写が「教育出版」、社会が「東京書籍」、地図帳が「帝国書院」、数学が「学校図書」、理科が「東京書籍」、音楽が「教育芸術社」、美術が「日本文教出版」、保健体育が「学研教育みらい」、技術・家庭が「開隆堂出版」、英語が「学校図書」、これらを採択するという事によろしいか。

異議はなく、承認された。

## 8 閉 会

教育長：教育委員会7月定例会を閉会する。